

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	道路構造物アセットマネジメント事業				シート番号	019-015
担当部署名	建設	局	土木	部	土木監理	課 評価責任者(課長名) 林

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	道路法			
	4	関連計画	堺市公共施設等総合管理計画			
5	事業実施の経緯	H26.3 トンネル、カルバート等の道路構造物について、5年ごとの法定点検が義務化(H25 道路法改正、H26 省令・告示施行) H28.8 堺市公共施設等総合管理計画を策定 H29～ トンネル、カルバート、標識、照明灯の個別施設計画を策定				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (各地域整備事務所) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び道路利用者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市公共施設等総合管理計画及び平成26年度道路法改正に伴う法定点検に基づき、道路構造物について予防保全型の点検・診断・措置(補修・更新)・記録の実施によるメンテナンスサイクルを構築し、将来にわたる維持管理費を縮減・平準化を図りながら、市民の安全・安心を確保する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	計画的な道路の維持管理を行うため、道路を構成する構造物(ボックスカルバート、案内標識等)について個別施設計画に基づき、点検・診断・措置(補修・更新)・記録のメンテナンスサイクルを実施する。 (参考:道路構造物と管理施設数) トンネル 2箇所 ボックスカルバート(大型) 6箇所 ボックスカルバート(小型) 32箇所 案内標識(門型) 70基 案内標識(大型) 1,944基 道路照明灯 15,802基			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託業務、工事発注の受注者				

Ⅲ. 投入量

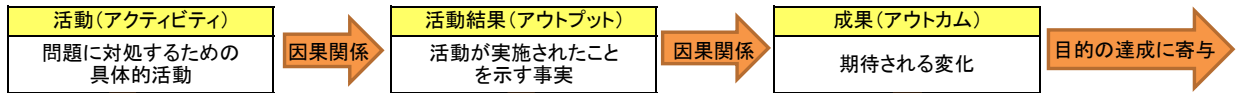
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	85,872	41,670	155,000	129,585	229,400	143,498	218,960	
主な事業費内訳	点検業務	千円	85,872	31,730	27,000	49,345	87,300	73,855	88,560
	修繕・更新工事等	千円	0	9,940	128,000	80,240	142,100	69,643	130,400
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	2,036	7,531	0	4,482	42,690	20,601	29,200
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円	0	3,600	115,100	72,200	116,900	74,200	102,600
	その他()	千円							
一般財源	千円	83,836	30,539	39,900	52,903	69,810	48,697	87,160	
12 人件費 (b)	千円	24,600	24,600	53,300	53,300	52,650	52,650	53,300	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	110,472	66,270	208,300	182,885	282,050	196,148	272,260	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	道路構造物アセットマネジメント事業	シート番号	019-015
-------	-------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	個別施設計画に基づき、道路構造物の点検・診断・措置(補修・更新)・記録のメンテナンスサイクルを計画的に実施し、道路の維持管理を適切に行った。その結果、道路構造物の補修・更新施設数、進捗率ともに目標を達成した。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			基	目標値	95	129	118	103
				実績値	95	129	118	
				達成率	100%	100%	100%	
				評価	良い	良い	良い	
			算出方法・設定根拠など 対象は個別施設計画で補修・更新が必要と位置付けた施設					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			%	目標値	12	32	48	62
				実績値	12	32	48	
		達成率		100%	100%	100%		
		評価		良い	良い	良い		
		算出方法・設定根拠など 対象は個別施設計画で補修・更新が必要と位置付けた施設						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	道路構造物の補修・更新施設数	基	95	129	118
	②	上記①にかかる年間経費	千円	66,270	182,885	196,148
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	697,579	1,417,713	1,662,271
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>国費や、令和3年度までの時限措置となっている公共施設等適正管理推進事業債を積極的に活用して計画的に事業を推進することで、目標を達成した。老朽化による事故を未然に防ぐとともに、将来にわたる維持管理コストを縮減することができたため、有効性が高い事業である。今後更に増大する膨大な点検等データの一元的かつ速やかな管理・効率的な活用を図るため、令和2年度以降は「大阪府都市基盤施設維持管理データベースシステム」に参画し、ICT技術を活用した適切な運用を開始する予定である。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	道路構造物アセットマネジメント事業	シート番号	019-015
-------	-------------------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コ ロ ナ 禍 を 踏 ま え た 点 検 (必 要 性 ・ 有 効 性 ・ 効 率 性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 トンネル、カルバート等の道路構造物は道路法により5年ごとの点検が義務付けられているため、廃止できない。その他構造物についても過去に老朽化による倒壊事例などがあり、廃止すると市民の安全・安心が確保できない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 トンネル、カルバート等の道路構造物は道路法により5年に一度の点検が義務付けられているため、休止(延期)できない。その他構造物についても過去に老朽化による倒壊事例などがあり、休止(延期)すると市民の安全・安心が確保できない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 老朽化に対応し、市民の安全・安心を確保するには、事業規模を維持しながら適切に予防保全を行う必要がある。現時点ではまだ新技術等を活用できる状況ではないが、今後、点検データ等を適切に記録し、新技術等活用を進めることで、将来にわたる維持管理費の縮減につながる可能性がある。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 道路は社会経済活動を支える社会インフラであり、社会経済活動を維持するため、適切な道路管理を遂行していく必要がある。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 構造物の点検データを蓄積し、構造物の老朽化の傾向分析を行うことで、将来的には対策必要な対象施設を絞り込んだ効果的・効率的な維持管理ができるようになる可能性がある。今後さらに増大する点検データの一元的かつ速やかな管理・効率的な活用を図るため、令和2年度以降は「大阪府都市基盤施設維持管理データベースシステム」に参画し、ICT技術を活用した適切な運用を開始する予定である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 事業規模については現状維持で適切な老朽化対策を継続し、市民の安全・安心を確保する。点検データを基に道路構造物の老朽化の傾向分析等を行うことが維持管理の効率化につながるから点検データの蓄積が重要であり、今後さらに増大する点検データの効率的な管理に向けて、積極的にICT活用等を図る。		